

連るもの也胸袋の毛餌藏の毛也今云胸毛白と云鵠毛と云
或ハ鷺毛ともいへる鷹の頸の毛とも餌持の毛也
と武用辨略よりわげり扱むごとくあるといふ
位の毛とつけく是ハ衣文によりしる也君侯云あつて巢
鷹の毛とつけく是鷹の巢鷹のむごのやうにゆるもの也
綿毛のり毛うぶ毛つ毛ふやうまたむごとく次才も鷹の
日も追く成長するよつやぐてなるをむとく調ひるやう
形とふゆもす鷹のむごのやうハ古羽を落してあつ
つ府をむと是とむあつてむとハむりくあつて斑なる
ふやのり毛といふ毛つ毛などハかちりて位の毛をあると云